

## 国務院国有資産管理監督委員会、完成車中央企業の戦略的再編を開始

国務院国有資産管理監督委員会は3月29日、電気自動車の百人会フォーラムで完成車中央企業の戦略的再編を開始すると発表した。研究開発、製造、市場資源を統合し、“世界的な競争力、自主的なコア技術を持ち、スマートネットワークの発展をリードする世界的な自動車グループ”をつくることを目的とする。

国有資産管理監督委員会の苜坪副主任は、今回の再編は産業集中度の向上に力を入れ、資源分散と投資の重複問題を効果的に解決すると同時に、専門的な統合を通じて運営効率を全面的に向上させると指摘した。

この再編は中央企業の強みを持つ資源を集中させ、新エネルギー車分野の“規模が小さく、分布が分散しており、実力が弱い”問題を解決し、専門的な統合を通じて国際的な競争力を高めることを目的としている。世界の自動車産業の変革に対応する戦略的措置であり、重要な技術的な突破を実現し、重複建設を回避するための必然的な選択でもある。

## 長安自動車は正式に中央企業の独立地位を確立 東風との合併中止

長安自動車は6月5日、《中国兵器装備集团有限公司の再編進展状況に関する公告》を発表した。

2つの重要な進展を発表した：第一は、東風自動車との合併再編計画が一時停止されたこと。第二に、同社は兵器装備グループ傘下の子会社から独立した中央企業に正式に昇格し、行政レベルと東風自動車と同レベルになった。この調整は、中央企業システムにおける長安自動車の地位が実質的に向上したことを示している。

長安自動車の今回の再編は二重のメリットをもたらしている。一方は、新たに独立した中央企業として、より高い戦略的自主権と資源支援を得られること。もう一方は、兵装グループの軍民業務の分離を通じて、軍事産業の制約から脱却し、海外市場の開拓により有利な条件が整った。

## 北京自動車グループ、部品事業の戦略的再編を開始

渤海自動車（600960）は、大規模な資産再編計画の為6月3日から取引停止となった。取引停止期間は10営業日を超えない見込み。同社は支配株主である海納川傘下の自動車部品企業4社の株式を取得し、それに伴う資金調達を計画している。

渤海自動車は近年、複数のM&Aを通じて自動車部品事業を拡大してきたが、経営上のプレッシャーが明らかに高まっている。2021年から2024年まで4年連続で赤字を計上し、累計純損失額は16.15億元に達した。特に2024年は12.64億元の損失を計上し、上場以来最大の損失記録を更新し、純利益は前年比で5倍以上急落した。

対象企業4社の経営範囲は、従来の自動車部品製造だけでなく、ICVなどの新興分野も含まれている。渤海自動車の今回の買収は海納川との関連事業の統合であり、更に会社の戦略転換の重要な措置であり、自動車の軽量化、スマート化、新エネルギーの方向への転換とグレードアップを加速することを目的としている。

## 吉利自動車とZeekr、全面的な統合計画を発表

吉利自動車グループは最近、ブランド統合戦略の推進を加速し、2025年2月にZeekrとLynk&Coの事業統合を完了したのに続き、5月にZeekr全体を吉利自動車に統合すると発表した。この一連の戦略調整は、グループが《台州宣言》を貫徹する決意を十分に体現している。2024年9月、吉利控股集团の李書福董事長は《台州宣言》の中で“戦略的焦点、資源の統合、協同で革新、経営の安定、人材の活用”の5つの戦略的柱を明確に打ち出し、今回の統合に明確な戦略的導きを提供した。

Zeekrを吉利自動車に組み込むことは戦略的意義がある：三大新エネルギーブランド（Zeekr、Lynk&Co、galaxy）はシナジー効果を生み出し、吉利の新エネルギー業務の発展を共同で推進する。ブランドの位置づけを明確にし、サプライチェーンとチャネルの連携を最適化することにより、この統合はスケールメリットとシステムの競争力を十分に発揮するだろう。